

# 第1回検討会及びWGにおける 意見・質問への対応について

---

令和5年3月28日

国土交通省

港湾局計画課

	意見	対応
検討会	モーダルシフトは距離帯や運航ダイヤ等によっても進み具合が異なると思うので、どのようなケースだと進むことになるのか、整理いただきたい。	荷主・フォワーダーに対してアンケート調査を行い、モーダルシフトを行う上での考え方を把握する。
	国内輸送の機関分担率について、例えば、500km以上の距離帯の、内航フェリー・RORO船による輸送の分担率など、マクロな視点での規模感の紹介もお願いしたい。	最新の全国貨物純流動調査(物流センサス:2021年実施)の結果も踏まえて、検討する。
	内航海運という表現は、統計資料などで、フェリーを含まず、貨物船のみを示す場合が多い。本検討会のとりまとめに当たっては、用語の定義に留意してほしい。	とりまとめに際して留意する。
	荷主への訴求を考えた際、荷役効率化のほか、二酸化炭素排出量削減といったグリーン化という観点も打ち出していく必要がある。	とりまとめに際して留意する。
WG	方向性において、コンテナを積載するシャーシについても触れていただきたい。	方向性(案)において「シャーシについては、荷台と一体となったものやコンテナを積載するものなど、さまざまな種類がある」と明記。
	ナンバー読み取りの技術の認識率が100%に達しておらず、現状では導入したとしても、人の手による作業が一定程度発生する。このため、既存の技術の精度をさらに高められるような技術開発の提案も求めて欲しい。	サウンディング調査の実施要領(案)において、現状として「一部ターミナルではナンバープレートの自動読み取りを導入しているが、認識率100%は達成されておらず、人の手による作業が一定程度発生している」と明記。
	働き方改革の観点から、内航フェリー・RORO船を利用した中継輸送を検討しており、法令上これが可能なのか確認いただきたい。	P.2参照
	特殊車両通行許可について、申請から許可までの期間をより短くすることはできないか。	実態を踏まえ、必要に応じ検討する。

【質問】働き方改革の観点から、内航フェリー・RORO船を利用した中継輸送を検討しており、法令上これが可能なのか確認いただきたい。

【回答】内航フェリー・RORO船を介した場合でも、中継輸送を行うことは可能。ただし、フェリー又はRORO船に車両のみを積み込む場合は、内航貨物利用運送事業に該当するため、第2種利用運送事業の許可が必要。また、貨物自動車運送事業輸送安全規則※(平成2年運輸省令第22号)第17条第4号及び第5号に定める交替運転者への通告等の措置を対面で行うことができないため、電話で行うなど工夫する必要がある。

## 【内航フェリー・RORO船を利用した中継輸送のイメージ】

